

あさくらっこおめでとう



申込期間 12月生まれ(12月号)の申込は11月8日(金)まで

申込方法
 ①メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)
 写真データを添付し、子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・連絡先(保護者氏名)を明記。送信後、市人事秘書課(☎22-1117/平日8時30分~17時15分)へ電話してください。
 ②来庁
 写真データを、市人事秘書課(本庁3階)または朝倉・杷木支所市民窓口係(1階)へ(USBメモリ不可)。
申込条件 満1~3歳の子どもが対象。定員18人(先着順)。申込多数の場合、満1歳の子どもを優先して掲載します。

子育て講座・イベント情報

11月はあさくら家族月間
 安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つ社会を実現するためには、一人ひとりが家族や子育てに関心を持ち、社会全体が大きな家族となって、子育てを応援していくことが重要です。県や市では11月を「家族月間」とし、子育て中の家庭を応援する講座、イベントなどをを行います。

パパもママもおじいちゃんもおばあちゃんも！
 みんなで一緒に「前向き子育て」

日時 11月9日(土)10時~11時30分
場所 フレアス甘木



子育ては家族でも考え方はさまざまです。子どもは家族によって対応が違うと何が正しいかを迷います。子どもの力を上手に伸ばすために、家族で子育てについて学びませんか？
講師…江上千代美さん(福岡県立大学看護学部教授)
託児…あり[11月1日(金)までに要申込]
問 前向き子育て応援事務局(☎080-6439-1851) 市子ども未来課(☎28-7568)

朝倉子ども祭り2024

日時 11月23日(土・祝)10時~17時
場所 朝倉青果市場

朝倉地域の子どもたちが中心となり企画運営をするお祭りです。ステージ、フード、お楽しみブース、小物や小石原焼の販売あり！ぜひ、遊びに来てください。会場でお待ちしています♪
問 朝倉キッズ実行委員会 中村(☎090-8222-7153)



あさくらきずなメール
 妊娠・子育てのメッセージがLINEで届く▶▶▶

子育ての不安解消に

11月の催し

母子健康手帳交付
 《市健康課》平日8時30分~17時
■持ってくるもの
 妊娠届出書、マイナンバーと本人確認ができるものなど

「親子健康カレンダー」に年間予定も掲載

子育て応援プログラム
 ※各教室とも、場所はピーポート甘木保健福祉センターです。参加時には、母子健康手帳が必要です。

マタニティクラス(母親学級)
 おいしいおっぱいのための食事について。調理実習・試食あり。
■日時…5日(火)9時30分~12時
 ※1日(金)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具、エプロン

もぐもぐ教室
 離乳食を始める生後4~6カ月の乳児と保護者の皆さんへ。
■日時…28日(木)10時~12時
 ※第2子以降の人は21日(木)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具、エプロン

すくすく(育児)相談
 子どもの成長、母乳、離乳食、遊び、歯みがき、トイレなど、気軽にご相談ください。身長・体重の計測も行っています。
■日時…13日(水)10時~11時30分
■持ってくるもの…バスタオル1枚
 ※母乳相談の受付は11時まで。別途フェイスタオル3枚持参。

乳幼児健診(対象者に個別で通知します)
 [甘木・朝倉地域の人]

対象	日
4カ月児(令和6年6月生)	12日(火)
10カ月児(令和5年12月生)	6日(水)
1歳6カ月児(令和5年4月生)	7日(木)
3歳児(令和3年10月生)	8日(金)

■時間…12時45分~
■場所…ピーポート甘木 保健福祉センター
■持ってくるもの…母子健康手帳
■健診内容…身長体重測定、小児科医による診察、育児・栄養相談
 《4カ月児》母乳相談
 《4カ月児・1歳6カ月児》ブックスタート
 《10カ月児・1歳6カ月児・3歳児》歯みがき相談
 《1歳6カ月児・3歳児》心理相談、歯科健診
 《3歳児》尿検査、視覚検査
問 市健康課(☎22-8571)

おはなし会

各図書館で、絵本の読み聞かせのほか、わらべうたを一緒に歌ったり、みんなで手遊びをしたりします。

- 【中央図書館】**
 おはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…毎週土・日曜日14時~
 ぴよぴよおはなし会(0~2歳児向け)
■日時…13日・20日(水)11時30分~
- 【あさくら図書館】**
 あかちゃんおはなし会(0~1歳児向け)
■日時…2日(土)11時~
 みんなのおはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…9日・16日・30日(土)11時~
 おひさまおはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…23日(土・祝)11時~
- 【はき図書館】**
 わくわくおはなし会(乳幼児向け)
■日時…26日(火)11時~

つどおう 子育て広場

親子が気軽に集い交流したり、育児相談を行ったりしています。詳しい内容や行事などはそれぞれの広場まで。
 ●子育てほっとサロン「つどいの広場」(堤1413)(☎080-6439-1851)
 ●生い立つ地域子育て支援センター(菩提寺606-1)(☎24-5203)
 ●ひろにわ地域子育て支援センター(入地2607-1)(☎080-8352-4178)

Pick Up

🌟月齢で進めない、離乳食inひろにわ
 離乳食が月齢通りに進まなくて不安を感じていませんか？「食事中に吐いたり、むせるたりすることがある」「初めての離乳食でよく分からない」などの悩み解決のため、赤ちゃんの発達の視点から学びます。
■日時…22日(金)10時15分~11時45分
■場所…朝倉体育センター 研修室
■講師…吉岡麻衣さん(ことばの教室ことりんく・言語聴覚士)
 ※託児あり(未就園児のみ7人まで)



シリーズ 人権

かけがえのない命 大切な時間

平成29年、私は妊娠していることが分かりました。流産を経験して2年がたち、子どもを授かることを心待ちにしていた頃でした。産むことができなかった子がいたからこそ、新たに宿ったかけがえのない命は、何に変えても大切に育てていこうと、親として決意した時期でもありました。

平成29年は、九州北部豪雨が発生した年でもあります。この災害で33人が亡くなり、2人の行方が分かっていません。その中には私の親戚もいました。

災害の翌年に出産し、ベビーカーで散歩していた時のこと。久しぶりに会った友人から、「名前はなんて言うの？」と聞かれたので答えると、「友人は驚いた顔をして、「知り合いと同名前」と言うのです。話を聞いてみると、「知り合い」とはまさに九州北部豪雨で被災した、私の親戚でした。名字だけしか知らなかった私は、「29年に失われた命」「29年に宿った命」「同名前」という偶然に驚きと戸惑いを隠せませんでした。災害で亡くなった人がいる中で、新たな命が宿ったことは、改め

て命の尊さを感じるきっかけとなりました。

あの日の朝まで変わらず一緒に過ごしていた人が、「いつもと同じ」と思っていた生活が、突然奪われるという不条理を誰が想像できたでしょう。私たちは、災害によって「大切な人とのかけがえのない日常は、変わらずに永遠と続くものではない」ということを痛感させられました。だからこそ、命の儚さ、命の尊さをかみしめながら、これからの日常を「あたりまえ」ではなく、一瞬一瞬が「大切な時間」なのだと感じ、過ごしてほしいと思っています。

人間は、誰もが「大切な時間」を持つ尊い存在です。現在、世の中にあふれている差別・偏見・いじめは、私たちの日常や「大切な時間」を突然奪い、時には、かけがえのない命さえも奪ってしまいます。私たちは、同じ「大切な時間」を共有している仲間であると認識することで、相手を尊重し、人権を尊重できる社会になるのではないのでしょうか。

問 市人権・同和対策課（☎2817861）

あなたの写真を掲載してみませんか？

自然や文化など「朝倉の魅力を再発見できる写真」を毎月掲載していきます。皆さんからの情報提供や写真の申込をお待ちしています。

- 掲載の候補となるのは次の写真です。
- ① Instagramで「#あさくらいふ」「#朝倉市」と付けて投稿された写真
 - ② メール (jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp) で申込があった写真 など
- ※メール申込の場合、氏名、連絡先、撮影場所・日時、写真に関するコメントを添えて申してください。▼申込はこちら
- ※掲載する場合、ご連絡します。



今月の1枚 #あさくらいふ

朝倉あきさん「ふくおか県芸術祭 2024」に登場 撮影日:令和6年10月5日

朝倉市親善大使の朝倉あきさんが県芸術祭のアンバサダーに就任。オープニングセレモニーのトークショーでは甘木絞りの衣装を着て、朝倉の魅力をPRしてくれました。



広報文芸

俳句 (矢野俊一選)

彼の地にも月は平和の光差し
牛鶴 長野 京子

飛び立ちし蟬の抜け殻数多かな
古賀 坂井千代子

秋晴れやみんなの食堂開店す
杷木久喜宮 田中 君子

ようやくに来てくれたるか今朝の秋
甘木 吉澤 孝夫

ねじやらしいたづら子の下校かな
甘木 山下 藍

初孫のうぶごえ動画初紅葉
比良松 足立 修三

川柳 (お題「滴」) (益永克之選)

秋刀魚には柚子の滴を振りかける
宮野 宮下 清

かくし味この一滴で舌づつみ
三奈木 古賀 寛子

一滴に肌を潤す化粧水
千手 山崎 弘子

水の旅滴がやがて大海へ
美奈宜の杜 宇都 信泰

窓際で水の滴り耳澄ます
杷木久喜宮 佐藤 敬二

七夕に里芋の滴で墨をする
菩提寺 北原 妙子

【広報文芸応募方法】はがきまたは封書に三句以内(一人一通限り)と住所・氏名・電話番号(連絡の取れる番号)を記載し、11月8日(金)までに直接選者に応募(10月から郵便料金の変更されていますのでご注意ください)。応募作品は、未発表・自身の作品に限ります。今一度、確認してください。応募は、俳句・川柳のいずれかひとつでお願いします。

■川柳次の題:「手紙」
【応募先】《俳句》矢野俊一さん(〒838-0068 朝倉市甘木1-929-1-2)
《川柳》益永克之さん(〒838-0061 朝倉市菩提寺523-2)



地域おこし協力隊通信

vol.34

秋月藩成立400年事業は クライマックスへ

秋月藩400年記念事業の運営・実施を行っている美佐です。

私が朝倉市に来て1年以上がたちました。地域の歴史や文化についての知識も以前よりは身についたと思います。最初は、「ここが秋月?」「どこに藩があったの?」なんて思っていました。今では自信を持って秋月の魅力伝えられるほどまでレベルアップしました。

秋月では、秋月藩成立400年を記念して令和5年から6年の2年間、さまざまなイベントが開催されてきました。令和5年から始まった秋月藩成立400年記念事業も今年12月31日までの残り約2

カ月となり、いよいよクライマックスを迎えます。

地域おこし協力隊員 美佐 紗雪梨さん



地域おこし協力隊の普段の活動は、市HPから見られます。

秋月藩成立400年記念事業の詳細は市HPへ。



▲(上)「秋月後の雛」では、長屋門に雛人形を並べました。(下)「稽古セミナーと観光ガイドツアー」では秋月藩の史跡を巡りました。



「ふだんの暮らしのしあわせ」を考えるきっかけに
住民福祉ボランティアのつどい開催



10月5日、ピーポルト甘木で「住民福祉ボランティアのつどい」が開催されました。これは、福祉への理解と啓発、福祉ボランティアの紹介などを目的に市社会福祉協議会が毎年行っています。

講演では『ばあちゃんたち高齢者が「働く」ことで活躍する社会を目指す』と題し、大熊充さん[うきはの宝(株)代表取締役]が登壇。多世代が協働する大切さを訴えかけました。

リサイクル品や手作りパッチワークの販売も行われ、大盛況でした。この収益は社会福祉事業に役立てられます。※パッチワークは中村悦子さん(古毛出身)から「皆さんに喜んでもらえたら」と寄附いただいたものです。

豊島与志雄顕彰会
偉人の功績を後世へ伝えていく

10月4日、福田コミュニティセンターで作家豊島与志雄(福田出身)の顕彰会が行われました。フランス文学『レ・ミゼラブル』を翻訳した豊島与志雄は、児童文学作家としても活躍しました。顕彰会では福田小4年生が童話『お月様の唄』の劇を披露。「堅香子の会」の竹中圭子さんによる『幻の園』の朗読も行われ、郷土の偉人に思いを馳せました。

甘木絞りが福岡県知事指定特産工芸品へ
未来へつなぐ伝統技法



9月26日、甘木絞り連絡協議会の皆さんが市役所を訪れ、甘木絞りが福岡県知事指定特産工芸品に加わったことを市長に報告しました。甘木絞りは、鹿の子絞りなどの技法を特徴とする木綿の藍染めで、江戸後期から昭和初期にかけて甘木周辺で作られていました。戦後、産業としては衰退しますが、現在は同協議会の4つの団体と個人会員が技術の継承などに取り組んでいます。

同協議会の大村会長は「県指定の特産工芸品となりうれしい。甘木絞りは自分にとって生きがい。今後も先人たちの思いを次世代に継承し、伝統を守る活動を続けていきたい」と話していました。



光月流太鼓伝承400年記念事業
垂裕神社に太鼓の音が響き渡る

10月13日、垂裕神社で、光月流太鼓伝承400年の記念式典が行われました。光月流太鼓は、秋月藩成立とほぼ同時の1624年に生まれた全国でも数少ない武家に伝わる太鼓です。当日は保存会である「秋鼓会」や秋月中の生徒による奉納演奏が行われ、秋月藩を思わせる格調高い太鼓の音に来場者は聞き入っていました。



新庁舎建設工事の仮囲いに絵画をプリント
小学生が描いた朝倉の未来予想図

9月14日、新庁舎建設地で絵画の記念撮影会と工事現場見学会が行われました。これは、工事を請け負っている事業者の協力により実現したものです。

今年5月、「将来の朝倉・夢」をテーマに、市内11の小学校へ絵画を募集。各校5枚を選出し、工事現場の仮囲いに55枚の絵画がプリントされました。

当日は、選出された小学生やその保護者が集まり、自分たちが描いた絵画の前で記念撮影。その後、工事の進捗状況や免震構造の仕組みなど、工事請負者からの説明を受け、工事現場内を見学しました。高所作業車や免震体験車の試乗もあり、子どもたちは大興奮。工事中の今しか体験できない貴重な夏の思い出となりました。

新庁舎建設工事の進捗状況は、随時、市ホームページや広報あさくらでお知らせしています。



台風で延期になるも多くの人でにぎわう
夏まつりあさくら

10月13日、台風の影響で延期されていた「第58回夏まつりあさくら」が、筑後川朝羽大橋右岸下流で開催されました。会場には多くの出店が並び、特設ステージではさまざまなパフォーマンスが披露。約1カ月半遅れの開催となりましたが、多くの人でにぎわいました。

最後には、約1000発の花火と大会の目玉である尺玉10連発が打ち上げられ、間近で大きく広がる尺玉花火に、会場からは歓声が上がりました。



循環型社会を目指して
イオン九州からランドセル寄贈

10月4日、イオン九州から市へランドセルが寄贈されました。寄贈式で、イオン甘木店の木本店長は「循環型社会を目指す取り組みの一環として寄贈します。ぜひご活用ください」と話しました。寄贈されたランドセルは経済的支援が必要な家庭や市内の児童養護施設へ贈られます。



地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

3号連続にわたり「秋月藩黒田三職の会」の皆さんを紹介する特別企画の第3弾。

11月2日(土)に開催される「秋月三名君フォーラム」に向けて、秋月藩の伝統産業を紹介します。

Interview

筑前秋月和紙処
4代目

井上 賢治さん

創業は明治時代の初めごろ。秋月地区の和紙工房「筑前秋月和紙処」の4代目。平成13年に帰郷し、家業を継ぐ傍らで秋月の歴史や文化を探索し続ける。

秋月藩に伝わる伝統産業である葛、川茸、和紙の職人による「秋月藩黒田三職の会」や「秋月鎧揃え保存会」としても活動。秋月の伝統を次世代へ伝える取り組みも行う。

伝統産業が残る「意義」 そして、残す「意味」

秋月唯一の和紙工房として

秋月和紙は、秋月藩8代藩主で秋月三名君の一人でもある黒田長舒公が、藩の産業として奨励したことで広がったといわれています。筑前秋月和紙処の創業は明治時代の初めごろ。最盛期には20軒ほどの紙屋がありましたが、その後陰りが見え、昭和40年代には当店を含めすべての紙屋が廃業になりました。

秋月に10年間ほど紙屋がない状態が続きました。「地元の伝統工芸がこのまま無くなるのはさみしい」と住民の声を受け、先代である父が一念発起。和紙づくりを再開し、秋月唯一の和紙工房として現在に至ります。

伝統の技を受け継ぐ

私は元々家業を継ぐつもりはありませんでした。大学卒業後就職し、東京、山梨、北海道など転勤で各地を回りました。さまざまな出会いの中で感じたのは、「秋月」を知っている人の多さでした。全国各地で私のふるさとを耳にし、驚きもありましたが、ふるさとへの誇りを持ち、その良さを再認識するように。30代後半には帰郷し、秋月和紙の伝統技法を受け継ぐ決心をしました。

紙づくりの技法は、紙が中国

から日本に伝わった1400年前からほとんど変わっていません。和紙づくりは職人の世界。父の技法を見て学び、感覚を養っていきました。和紙を購入いただくお客さんは全国にいます。「書きやすい」「この紙でない」といった声を聞くとやりにがいや喜びと同時に、秋月和紙を絶やしてはいけないとの使命感を感じています。

目指すは純秋月産和紙

秋月に帰郷した時から、郷土史などを読み込んで、歴史を学んできました。その歴史をつないでいきたい思いから、有志と共に「秋月鎧揃え保存会」や「秋月藩黒田三職の会」を発足。少しでも多くの人に秋月の歴史を知ってもらうために、活動を続けています。そんな活動が続ける中で、葛、川茸、和紙などが現代まで残る「意義」を感じ、絶やしてはいけない「意味」が分かるようになりました。今後も変わらず、和紙を作り続けていきます。そして一つの夢も。それは和紙の原料となる楮を秋月産で賄い、和紙を作ることです。純秋月産和紙を、これからも紙を漉きます。



筑前秋月和紙処 (秋月 424-2 ☎ 25-0517)



伝統産業を守り、伝える



秋月藩黒田三職の会では、葛、川茸、和紙の歴史や秋月の魅力を伝えるワークショップなどを定期的に開催しています。ワークショップ終了後には三職それぞれの特色を生かしたお土産も。ぜひ一度参加してみませんか？



店内では、ステキな和紙や和紙でできた作品を購入できます。昔ながらの伝統的手法での紙漉見学や体験も。井上さんから紙漉きや原材料について、秋月の歴史を交えながら教えていただけます。

紙漉き体験(要予約)

■料金…1人1300円 ※団体時10人以上は要相談

